

個別避難計画の作成方法

1. 個別避難計画の作成フロー

● 既にリスク・アセスメントシートなど、災害時の避難計画が決まっている場合

① 利用者・家族に制度説明

※別添2の様式参照

② 個人情報等に係る同意確認

※別添3の資料参照

③ 既存計画書の転記

④ 計画書の提出

※提出先：ケアマネ連協事務局

⑤ 計画書の見直し・更新

● これから避難計画を決めていく場合

① 利用者・家族に制度説明

※別添2の様式参照

② 個人情報等に係る同意確認

※別添3の資料参照

③ 様式に基づき個別避難計画の作成

④ 計画書の提出

※提出先：ケアマネ連協事務局

⑤ 計画書の見直し・更新

個別避難計画作成時の注意点

個別避難計画を作成する目的は、利用者さんの安全確保のためです。
利用者さんに説明する場合は、「作成しなければならない…」のような義務的な進め方ではなく、災害発生時に備えとても重要なことである旨を伝え、避難行動について検討・調整をお願いします。

2. 使用する様式・資料について（制度説明）

利用者・家族への制度の説明に当たっては、
別添2「同意確認について（おもて）」により、「**平常時から避難支援等関係者への名簿の提供**」、
「**個別避難計画の作成（災害発生時の避難支援の希望の有無）**」について確認。
※制度のイメージは、別添2「大牟田市災害時要配慮者支援制度について（うら）」を参照。

（おもて）
「大牟田市災害時要配慮者名簿」の提供に関する同意書について

別紙

令和6年度
大牟田市長

「大牟田市災害時要配慮者名簿」の提供に関する同意確認について

大牟田市では、災害発生時に自分で避難することが困難で、特に支援を要する方を把握するため、大牟田市災害時要配慮者名簿（以下、「名簿」という。）を作成しています。（災害対策基本法第49条の10）

この名簿作成の対象となっている災害時要配慮者（※1）の要件に該当されている方は、氏名等が名簿に掲載されており、災害時には名簿を活用した避難支援等が行われる場合があります。

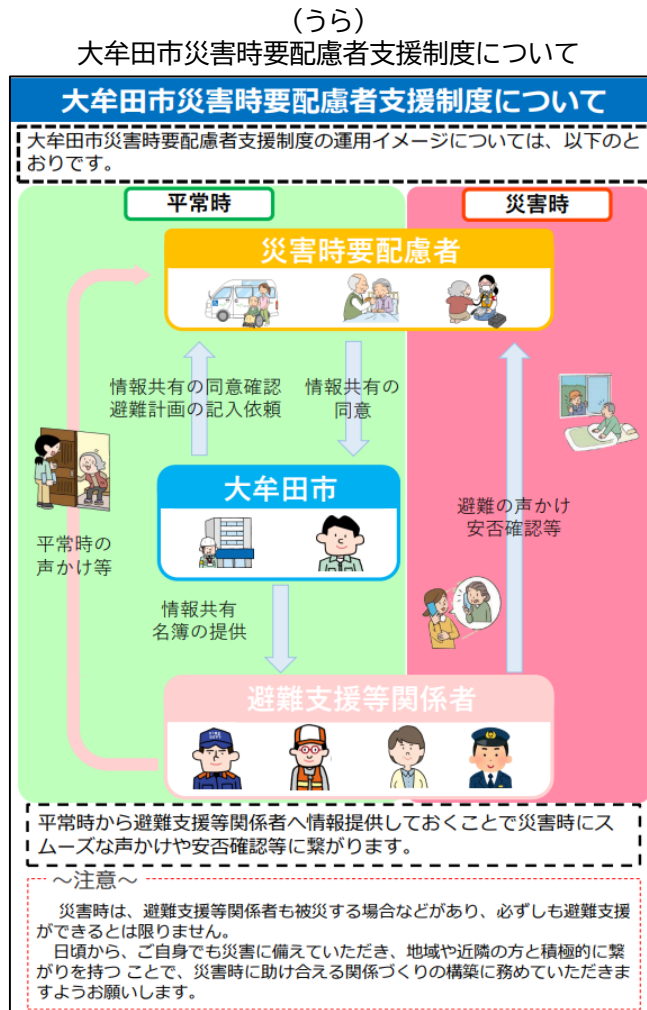
つきましては、平時から避難支援等関係者（※2）への名簿の提供及び個別避難計画の作成、並びに災害発生時の避難支援の希望の有無について、「**大牟田市災害時要配慮者名簿**」の提供に関する同意書をご記入の上、大牟田市役所（防災危機管理室）へご提出いただきますようお願いいたします。

※1 災害時要配慮者とは、要介護3・4・5、身体障害者手帳1級・2級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級のいずれかに該当される方です。

※2 避難支援等関係者（名簿を提供する関係者、関係団体）

①大牟田市消防団	②大牟田警察署	③民生委員・児童委員
④大牟田市社会福祉協議会	⑤自主防災組織その他の避難支援等関係者	

【問い合わせ先】
大牟田市役所 防災危機管理室
電 話：0944-41-2894 F A X：0944-41-2893
E-mail：e-bousaikk01@city.omuta.fukuoka.jp



2. 使用する様式・資料について（同意書・個別避難計画書）

個別避難計画の作成に当たっては、
まず、別添3「同意書（おもて）」により、「支援の希望」の有無、「平常時からの情報提供の同意」の有無を確認。
説明の際には、別添2「同意確認について」を使用し、利用者に説明。
次に、別添3「計画書（うら）」を記入し、市へ提出。

（おもて）

「大牟田市災害時要配慮者名簿」提供に関する同意書

（うら）

災害時要配慮者の個別避難計画書

別紙

「大牟田市災害時要配慮者名簿」の提供の同意確認について

【要項所等】

【介護専門支援員】

【要介護者の氏名】

【要介護者の居住地域のハザード】

☐ 洪水浸水想定区域 ☐ 内水氾濫浸水想定区域 ☐ 高潮浸水想定区域、
☐ 土砂災害（特別）警戒区域 ☐ いずれも該当なし

「大牟田市災害時要配慮者名簿」提供に関する同意書

大牟田市長 様

※いずれかの□にチェック(✓)をつけてください。

1、私は、災害発生時に避難する際の声掛けや避難誘導などの支援を、

☐ 希望します → 2、同意確認へ進んでください

☐ 希望しません(避難の支援は不要です) → 終了です (下記に署名し、大牟田市役所へ提出してください)

2、私は、別紙「大牟田市災害時要配慮者名簿の提供に関する同意確認について」をよく読み趣旨を理解した上で、氏名、生年月日、年齢、性別、住所、該当する名簿掲載の要件及び個別避難計画書に記載した事項を、平常時から避難支援等関係者に提供することに、

☐ 同意します ☐ 同意しません

※いずれかの□にチェック(✓)をつけてください

※「同意します」の方は、裏面の個別避難計画書を記入して提出してください

令和 年 月 日

氏名（自署）

※本人が自署できない場合や未成年の場合は代理人が署名してください。

（代理人署名 本人との関係

【ご注意】

※ 災害発生時において、避難の支援などが必ずなされることを保証するものではありません。また、避難支援等関係者は法的な責任や義務を負うものではありません。

※ 「同意しません」の場合でも、災害発生時には、災害対策基本法に基づき、「大牟田市災害時要配慮者名簿」を避難支援等関係者に提供し、避難誘導や安否確認等に使用します。

※ この同意書で選択された項目は、申し出があれば変更可能です。

※ 裏面は、上の欄1で「希望します」にチェックをつけた方のみ記入してください。

災害時要配慮者の個別避難計画書

災害時における避難支援等に役立てるため、可能な範囲で計画を記入してください。

ふりがな氏名	住所
生年月日	明治・大正・昭和・平成・令和 年 月 日
性別	男 性 / 女 性
血液型	A 型 / B 型 / AB 型 / O 型
同居している家族等の有無	あり / なし
通院している医療機関名	※記入例：「××クリニック」「△△療養院」など
利用している福祉施設名（介護・障害支援サービス等）	※記入例：「〇〇福祉施設（デイサービス）」「△△会（ショートステイ）」など
ご自身の状況について、あてはまるものすべて選択してください。（□にチェックを付けてください）	
☐ 歩行が困難（立ったり、歩いたりができない） ☐ 認知症の症状がある	
☐ 目が見えない、見えにくい ☐ その他（持病の有無、具体的な病名など）	
☐ 耳が聞こえない、聞こえにくい	
☐ 言葉や文字の理解が難しい	
緊急時の連絡先	住所
氏名	電話番号（自宅・携帯）
避難の支援をしてくれる人の連絡先（避難支援等関係者）	住所
氏名	電話番号（自宅・携帯）
避難先（避難経路）	【一時的に避難する場所】 【最終的に避難する場所】
※記入例：地域の公民館や福祉センター、自宅の2階など ※記入例：地区公民館、〇〇福祉施設、福祉センターなど	
特記事項・避難支援時の留意事項	
※避難や避難支援の際に、気をつけてほしいことを記入します。（記入例①：「ペット（猫）」がいる」「現在、一時的に住民の住所に暮らしている」など） （記入例②：避難経路上に注意すべき浸水想定区域、急勾配、段差等がある場合など）	

別紙

令和6年度
大牟田市長

「大牟田市災害時要配慮者名簿」の提供に関する同意確認について

大牟田市では、災害発生時に自分で避難することが困難で、特に支援を要する方を把握するため、大牟田市災害時要配慮者名簿（以下、「名簿」という。）を作成しています。（災害対策基本法第49条の10）

この名簿作成の対象となっている災害時要配慮者（※1）の要件に該当されている方は、氏名等が名簿に掲載されており、災害時には名簿を活用した避難支援等が行われる場合があります。

つきましては、平時から避難支援等関係者（※2）への名簿の提供及び個別避難計画の作成、並びに災害発生時の避難支援の希望の有無について、「大牟田市災害時要配慮者名簿」の提供に関する同意書をご記入の上、大牟田市役所（防災危機管理室）へご提出いただきますようお願いいたします。

※1 災害時要配慮者とは、要介護3・4・5、身体障害者手帳1級・2級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級のいずれかに該当される方です。

※2 避難支援等関係者（名簿を提供する関係者、関係団体）

①大牟田市消防団 ②大牟田警察署 ③民生委員・児童委員

④大牟田市社会福祉協議会 ⑤自主防災組織その他の避難支援等関係者

【問い合わせ先】

大牟田市役所 防災危機管理室

電 話：0944-41-2894 F A X：0944-41-2893

E-mail：e-bousaikk01@city.omuta.fukuoka.jp

16

3. 個人情報等に係る同意確認（おもて）

【事業所名等】

【介護専門支援員】

【要介護者の氏名】

【要介護者の居住地域のハザード】

☐ 洪水浸水想定区域

☐ 内水氾濫浸水想定区域

☐ 高潮浸水想定区域、

☐ 土砂災害（特別）警戒区域

☐ いずれも該当なし

「大牟田市災害時要配慮者名簿」提供に関する同意書

大牟田市長 様

※いずれかの□にチェック(✓)をつけてください。

1、私は、災害発生時に避難する際の声掛けや避難誘導などの支援を、

☐ 希望します

→ 2、同意確認へ進んでください

☐ 希望しません(避難の支援は不要です)

→ 終了です（下記に署名し、大牟田市役所へ提出してください）

2、私は、別紙「大牟田市災害時要配慮者名簿の提供に関する同意確認について」をよく読み趣旨を理解した上で、氏名、生年月日、年齢、性別、住所、該当する名簿掲載の要件及び個別避難計画書に記載した事項を、平常時から避難支援等関係者に提供することに、

☐ 同意します

☐ 同意しません

※いずれかの□にチェック(✓)をつけてください

※「同意します」の方は、裏面の個別避難計画書を記入して提出してください

令和 年 月 日

氏名（自署） _____

※本人が自署できない場合や未成年の場合は代理人が署名してください。

（代理署名 _____ 本人との関係 _____ ）

【ご注意】

※ 災害発生時において、避難の支援などが必ずなされることを保証するものではありません。また、

ハザードマップなどを使い、
居住場所の災害リスクを確認してください。
※当該計画は、大雨や台風などの風水害時に少しでも
スムーズに避難が行えるように、あらかじめ避難行動
について決めておくものです。

支援の希望について回答してください。
※風水害による災害リスクがない場合や家族による
支援体制があり、声掛けや避難誘導などの支援
が不要な場合は「希望しません」を選択ください。

別紙「大牟田市災害時要配慮者名簿の提供
に関する同意確認について」を読んでい
ただき、同意について回答ください。
※同意については、提出後も変更できます。

記入の内容を確認していただき、署名を
お願いします。
※本人以外の情報についても、記入するこ
とについて、その方の同意がされたもの
として取り扱いますので、その旨をご本人に
お伝えください。

4. 個別避難計画の作成（うら）

災害時要配慮者の個別避難計画書



災害時における避難支援等に役立てるため、可能な範囲で計画を記入してください。

ふりがな 氏 名			住 所		
生年月日	明治・大正・昭和・平成・令和 年 月 日		連絡先	自宅電話： 携帯電話： ファクス：	
性 別	男 性 / 女 性		血液型	A 型 / B 型 / AB 型 / O 型	
同居している 家族等の有無	あり / なし		普段服用 している薬	あり () / なし ※記入例：「高血圧の薬」など	
通院している 医療機関名	※記入例：「××クリニック」「△△歯科医院」など				
利用している福祉施設名 (介護・障害支援サービス名)	※記入例：「□□福祉施設(デイサービス)」「◎◎園(ショートステイ)」など				
ご自身の状況について、あてはまるものすべて選択してください。(□にチェックを付けてください)					
☐ 歩行が困難(立ったり、歩いたりができない) ☐ 認知症の症状がある					
☐ 目が見えない、見えにくい ☐ その他(持病の有無、具体的な病名など)					
☐ 耳が聞こえない、聞こえにくい					
☐ 言葉や文字の理解が難しい					
緊急時の 連絡先	ふりがな			住所	
	氏 名			連絡先 電話番号(自宅・携帯)	
避難の支援を してくれる人 の連絡先 (避難支援等実施者)	ふりがな			住所	
	氏 名			連絡先 電話番号(自宅・携帯)	
避難先 (避難経路)	【一時的に避難する場所】		【最終的に避難する場所】		
	※記入例：地域の公民館や親戚宅、自宅の2階など		※記入例：地区公民館、□□福祉施設、親戚宅など		
特記事項 ・ 避難支援時 の留意事項	※避難や避難支援の際に、気をつけてほしいことを記入します。 (記入例①：「ペット(猫)」がいる」「現在、一時的に住民票の住所と違う所に住んでいる」など) (記入例②：避難経路上に注意すべき浸水想定区域、急勾配、段差等がある場合など)				

裏面「災害時要配慮者の個別避難計画書」

- おもて面の同意確認により、支援を希望される方は、裏面の計画書を記入し、ケアマネ連協事務局に提出ください。
- 災害時における避難支援等に役立てるため、可能な範囲で計画を記入してください。
- また、提出後に変更があったときは、申し出てください。

※個別避難計画を検討する場合は、避難先や避難支援者に合わせて
どのタイミングで避難行動をとるかが重要

警戒レベル	主な気象情報	取るべき行動
警戒レベル 1	早期注意情報 (警報級の可能性)	災害への心構えを高める必要あり。 最新の防災気象情報等に留意する。
警戒レベル 2	大雨注意報 洪水注意報 キキクル(黄)注意	ハザードマップ等により、災害が想定されている 区域や避難先、避難経路を確認する。
警戒レベル 3	大雨警報(土砂災害) 大雨警報(土砂災害) 洪水警報 キキクル(赤)警戒	高齢者等避難を発令目安。 高齢者など避難に時間を要する人は早めに 避難を開始する。
警戒レベル 4	土砂災害警戒情報 キキクル(紫)危険	避難指示を発令する目安。 危険な場所からの避難が必要。避難指示が 発令されていない場合でも避難の判断が必要。
警戒レベル 5	大雨特別警報 氾濫発生情報 キキクル(黒)災害切迫	緊急安全確保を発令する判断材料となる情報。 何らかの災害がすでに発生している可能性が 極めて高い状況。命の危険が迫っているため 直ちに身の安全を確保を行う。

5. 個別避難計画の記入例①（利用者の基礎情報）

災害時要配慮者の個別避難計画書

(裏)

災害時における避難支援等に役立てるため、可能な範囲で計画を記入してください。

ふりがな 氏 名	ふ り が な ● ● ● ●	住 所	● ● 町123-1
生年月日	明治・大正・昭和・平成・令和 ● ● 年 ▲ 月 ■ 日	連 絡 先	自宅電話： なし
			携帯電話： 090-0000-0000
			ファクス：
性 別	男 性 / 女 性	血 液 型	A 型 / B 型 / AB 型 / O 型
同居している 家族等の有無	あり / なし	普 段 服 用 している薬	あり (糖尿病の薬) / なし ※記入例：「高血圧の薬」など
通院している 医療機関名	● ● 医院、■ ■ 内科クリニック ※記入例：「××クリニック」「△△歯科医院」など		
利用している福祉施設名 (介護・障害支援サービス名)	デイサービス● ● ※記入例：「□□福祉施設（デイサービス）」「◎◎園（ショートステイ）」など		
ご自身の状況について、あてはまるものすべて選択してください。（□にチェックを付けてください）			
☐ 歩行が困難（立ったり、歩いたりができない） ☒ 目が見えない、見えにくい ☐ 耳が聞こえない、聞こえにくい ☐ 言葉や文字の理解が難しい		☐ 認知症の症状がある ☒ その他（持病の有無、具体的な病名など） [・右手のつかむ力が弱い ・耳元でゆっくり話すと聞き取れる ・歩行には杖が必要]	

6. 個別避難計画の記入例②（避難行動にかかる情報）

● 家族など、避難時の支援者が近くにいる方の場合

緊急時の 連絡先	ふりがな	○ ○ ○ ○	連絡先	住所
	氏 名	● ● ● ● (続柄) 長女		大字 ● ● ○ - ○ 電話番号（自宅・携帯） 080-0000-0000
避難の支援を してくれる人 の連絡先 (避難支援等実施者)	ふりがな	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	連絡先	住所
	氏 名	● ● ● ● ● (続柄) 弟		● ● 町 ○ - ○ 電話番号（自宅・携帯） 090-0000-0000
避難先 (避難経路)	【一時的に避難する場所】		【最終的に避難する場所】	
	大字 ● ● の長女の家 ※記入例：地域の公民館や親戚宅、自宅の2階など		左に同じ ※記入例：地区公民館、□□福祉施設、親戚宅など	
特記事項 ・ 避難支援時の 留意事項	・ときどき長女の家泊まるため、居ない時がある。 ・長女はなかなか電話が繋がらない。 ・周辺は浸水しやすいため、大雨が見込まれる場合は早めの避難が必要。 ・排泄は一人では困難。 ※避難や避難支援の際に、気をつけてほしいことを記入します。 (記入例①：「ペット（猫）がいる」「現在、一時的に住民票の住所と違う所に住んでいる」など) (記入例②：避難経路上に注意すべき浸水想定区域、急勾配、段差等がある場合など)			

7. 個別避難計画の記入例③（避難行動にかかる情報）

●独居で近くに身寄りがない方の場合

緊急時の 連絡先	ふりがな	△△ △△	連絡先	住所
	氏 名	▲▲ ▲▲ （続柄） 長男		大阪市○-○
避難の支援を してくれる人 の連絡先 （避難支援等実施者）	ふりがな	しえんしゃ えー	連絡先	住所
	氏 名	支援者A （続柄） ●●事業所		●●町○-○
避難先 （避難経路）	【一時的に避難する場所】		【最終的に避難する場所】	
	●●事業所 ※大雨等が見込まれる場合はショートステイを利用 ※記入例：地域の公民館や親戚宅、自宅の2階など		●●事業所 ※ただし、避難生活が長期化する場合は、 一時的に長男宅で生活することも検討 ※記入例：地区公民館、□□福祉施設、親戚宅など	
特記事項 ・ 避難支援時の 留意事項	・ときどき弟の家に泊まるため、居ない時がある。 ・電話には出ない。 ・家の前は道路が狭く、軽自動車しか通らない。 ・洋式トイレならば、一人で何とか使える。 ※避難や避難支援の際に、気をつけてほしいことを記入します。 （記入例①：「ペット（猫）がいる」「現在、一時的に住民票の住所と違う所に住んでいる」など） （記入例②：避難経路上に注意すべき浸水想定区域、急勾配、段差等がある場合など）			

**計画作成にあたり、
ご不明な点やご質問は、
以下へお問い合わせください。**

**大牟田市防災危機管理室
(TEL 4 1 - 2 8 9 4)**